

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2019年 4 月 19 日 氏名 大澤 豊

【JHF 活動履歴】
1984年～1991年 南関東地区連盟 理事
1991年～2000年 北関東地区連盟 理事
1986年～2004年 ハング競技委員会 委員長
2000年～2017年 茨城県ハングパラグライディング連盟 理事及び事務局
2005年～2019年 JHF 理事

【JHF 定款への理解】（どれかひとつをマルで囲んでください）
<input checked="" type="radio"/> 熟知している ・ <input type="radio"/> ある程度理解している ・ <input type="radio"/> 一通り目を通した ・ <input type="radio"/> これから目を通す

【立候補意思表明】公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。 その際に下記3点を含めて下さい。 (1)今の JHF の活動で課題と考えている事 (2) 今後の JHF が活動していくべきと考える事 (3) ご自分が理事として実践していきたい事
安全性の向上、フライヤー人口の増加、財政の適正化、法令順守、迅速な情報公開など多くの課題を JHF は抱えています。
これからもフライヤーが楽しく空を飛ぶために、これらの課題を解決していかなければなりません。
その中でも私は次の点に注力して参りたいと考えています。
1. HG 教本改定
2. 安全対策
3. 競技運営の改善
長年の懸案であった HG 教本改定がようやく完成の目処がたってきました。
7期に渡って務めた理事としての活動ですが、年齢的なこともあり
今回は最後の立候補になる覚悟でいます。
後に続く後輩の理事たちに課題を残さないためにも
今回の任期中に教本の完成させるべく担当理事として尽力いたします。
安全性委員会担当理事として、事故を無くすために安全対策について議論し考えていますが、事故が減らないのが現状です。
安全なスポーツでないと普及に繋がらないので、これからも安全性の向上
ひいてはフライヤーの増加を目指します。
長年に渡って競技委員長として HG 競技の運営に携わってきた経験を活かし
PG および HG 競技で安全、公平な運営が出来るよう協力します。

平成17年度役員選挙にて初当選して以来14年間、理事としてJHFの抱えるさまざまな
問題に少しでもお役に立てるように、理事会には必ず出席し議論してきました。
これからもJHFを若い世代、将来に引き継げるようにJHFの活動を支えていきたいと
思います。
よろしく願いいたします。

※この立候補意思表明書はJHFホームページに掲載し一般にも公開されます。

過去にあった800字制限はありません、また必要に応じて用紙を増やして下さい。

この用紙をプリントアウトし手書きでの提出、または上記項目を漏れなく網羅してテキストファイル(.txt)で提出することも可とします。詳しくは「立候補意思表明書の提出について」をお読みください。